

第13回認知症ケア学会大会（5月19～20日 浜松）にて曾山医師が代表を務める「認知症の人と共にくらす会”きくち”」が読売奨励賞を受賞しました。



曾山会長、松永副会長が代表で授賞されました。6月に読売新聞に掲載される予定です。

「認知症の人と共にくらす会きくち」は平成19年に立ち上げられ、アドバイザー養成講座、小中学生へのサポーター講座、協力店舗活動、ケアマネジャーを含めた医師会研修会など数々の取り組みを包括支援センター、教育委員会、学校、施設の職員と共に進めてまいりました。その功績が受賞という形になったと感じています。

今回の学会では、菊池での取り組みで曾山医師が、小学生へのサポーター講座の効果で和田が発表しています。また、他の会員が夜間帯の見回り状況などを報告、協力店舗まちいっぱい活動報告をポスターにて発表しています。